

人類は進化の末に、「おしゃべりが出来るようになったけれども、それとひきかえに、誤嚥の危険というリスクが生じてしまった」ことをわかりやすく示し、龍角散の服薬補助ゼリー「らくらく服薬ゼリー」の機能と特色を紹介するアニメーションCM。

京都大学霊長類研究所の西村剛准教授が学術監修、半立体アニメーションとCGと実写を合成して制作した。



人間は2本足で歩けるようになってから、爆発的な進化を遂げたと言われています。

こうしておしゃべりが出来るのは、進化の過程でノドの中に広い空間が出来たからです。

この空間のせいで、空気の通り道と食べ物の通り道が交差しました。交差点には仕切りがあって交通整理が出来ますが、タイミングを間違えると、むせてしまったり、誤嚥により肺炎をおこすことがあります。人間はおしゃべりとひきかえに、物を飲み込むことが苦手になってしまいました。だから水で薬を飲む時に、薬だけひっかかってしまうことがあるのです。

でも、服薬ゼリーと一緒になら、薬がスムーズにノドを通過して、ストンとお腹に届きます。

龍角散は、いつも忙しくて、おしゃべりな人間のために、水を進化させました。

らくらく服薬ゼリーで、より安全に薬を飲みましょう。

CM
アニメーション
ビデオ
カラー／60秒

■企画
株式会社龍角散

スタッフ

■製作
栗田真紗子
■脚本・演出
森 吉美
■アニメーション
ミスミヨシコ
■CG
西江紳郎
井上二美
■作曲・演奏
羽深由理
■効果音
滝野ますみ
■演出助手
小林えりか
■撮影
西川浩史
■照明
渡辺耕次
■美術
井上二美
■編集スタジオ
moi
■録音スタジオ
東京テレビセンター
■ナレーター
うすいたかやす